

## 第66回例会

# 外国語教育の新しい形を求めて

英語以外の外国語を学ぶ意義と、その実践について考える

話題提供：池谷尚美さん（横浜市立大学）・

阪堂千津子さん（武蔵大学）・西香織さん（明治学院大学）

■ 日時 ■

2020年4月26日（日）15：00～17：00

■ オンライン開催 ※こちらに↓アクセス ■

<https://zoom.us/j/971546667>

申し込み不要

参加費無料

当例会では、英語以外の外国語教育と社会に「つながる」言語教育についての意義を考えていきます。様々な背景を持つ人たちが日本で暮らしている現在、言語教育が社会で果たす役割やその方向性も変化しているのではないのでしょうか。また、外国で日本語を教える場合、その意味や目的はその社会とどのように結びついているのでしょうか。

話題提供者3名は、今まで「価格」「音楽」「街の標識」「平昌オリンピック」「外国人が日本で感じる違和感」「日本旅行で使える表現集」をテーマにそれぞれの言語クラスでプロジェクト学習を行い、その結果をお互いの学生同士で共有し、相互学習につなげる取り組みを行ってきました。当例会では、これまでの3言語共同プロジェクト全体を振り返り、それを基にして、これからの外国語教育の在り方や今後の方向性を議論します。



問い合わせ先：言語文化教育研究学会 企画委員会

Email: [project@alce.jp](mailto:project@alce.jp)



話題提供者：池谷尚美（ドイツ語）横浜市立大学非常勤講師、  
阪堂千津子（韓国語）武蔵大学非常勤講師、西香織（中国語）  
明治学院大学教授。国際文化フォーラム主催『外国語学習のめやす』マスター  
研修が縁で2013年度より3言語共同プロジェクトをほぼ毎年実施している。